



## 市民活動支援補助事業

### 『若者と社会をつなぐために家族ができること』連続4回講座 第3回

講師 境 泉洋(もとひろ)さん(徳島大学大学院准教授)

⑤望ましい行動を増やす方法

⑥望ましくない行動を減らす方法



11月24日に第3回講座は行われました。望ましい行動を増やすためには、上手にほめること。そして望ましくない行動を減らすには上手にしかる。いずれも子どもの気持ちをしっかりと受け止めなくてはならない。特にしかることは容易ではないが気持ちを受け止めたあとで譲れない強さを示すことが大事。受容されたと感じた子どもは気持ちを言葉で表すことができるようになる。子どもの不満(問題行動)を要求に変えそれに対して、前回学んだポジティブコミュニケーションで対応していく。そしてやる気を出した子どもを尊重、賞賛することが大事。そうして子どもは親を信頼し、親そのものが強化子となる。時として感情が邪魔をして行動できない(ほめられない)時もある。親には心のゆとりが必要。

今回も具体的に実践のスキルを学びました。境先生が常々言われるのが受容と共感と厳しさのバランス。その根底にある親にしか分からない無条件の優しさが、子どもを安心させ立ち上がらせて行くのでしょうか。手だてがないと言いつつ毎回顔を出される親御さんもいます。その行動そのものが親の優しさですね。次回よいよ最終回となります。最後までしっかりと学び実践につなげて行きたいものです。

次回 12月15日 宮崎市民プラザ 4F 中会議室

《午前10時:一般》 《午後1時:会員家族》

※申し訳ありません。この講座は定員に達し受講募集をしめきっています。

### 第8回社会的ひきこもり支援者全国実践交流会 in 宮崎

2013年2月23日(土)24日(日) JAアズムホール

ボランティア募集しています

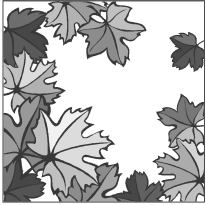
お力をお貸しください。共に作り上げましょう。チラシを同封しています。

#### 第7回実行委員会

とき 12月1日(土)13時~16時 ところ 宮崎市民プラザ 4階中会議室

#### 第8回実行委員会

とき 1月5日(土)13時~16時 ところ<sup>1</sup>宮崎市民プラザ 4階中会議室



## ポランの広場の歩みとKHJ親の会とのかかわり

藤田 健（特定非営利活動法人岩手県青少年自立支援センター「ポランの広場」顧問）

### 1. 岩手県不登校を考える父母会からホットな居場所「ポランの広場」がうまれました・・・

岩手県不登校を考える父母会が結成されて25年になりました。岩手県内13地区にある親の会が月1回の定例会を休むことなく続けており、これは全国どこにもない組織ではないかと自負しています。

2001年には盛岡市に、不登校・登校拒否・ひきこもりで悩む親子・若者のホットな居場所、特定非営利活動法人岩手県青少年自立支援センター「ポランの広場」が開設されました。定款には「不登校やひきこもりに悩む親子を支えるために、相談事業及び青少年の自立支援事業を行い、あわせて社会的理解を深めるために広報活動や学習研修活動を行うことによって、青少年の健全育成に寄与することを目的とする」とあり、2008年にはその活動が評価され岩手日報文化賞をいただきました。

また、宮古地区不登校を考える父母会を母体に生まれたみやこ自立サポートセンターが、2008年に「みやこ若者サポートステーション」を開設しました。

2011年の東北大地震では、父母会の親子どもの中に亡くなられたり被災された方が出ました。全国の登校拒否・不登校やひきこもりの会の仲間から心からのご支援をいただきました。本当にありがとうございました。

### 2. 必要なのは「学習」。県内外の多くの支援団体・ネットワークと連携・・・

2010年に、内閣府調査でひきこもり群70万人、ひきこもり親和群155万人という推定数字が公表されました。ひきこもりの実態がどうなっているのかについては、国レベルでもこの程度しかわかりません。岩手県不登校を考える父母会は、増え続ける多様なひきこもりに対し行政に支援を求めてきました。不登校・登校拒否もひきこもりも、大部分は病気でも怠けでもありません。しかし長引くことによって精神的な二次障害を引き起こします。長いひきこもり・閉じこもりから早く脱出させなければなりません。そのために共通の「理解と対応」が課題となってきます。

県内各地区の父母会の定例会に活力を与えるためには「学習」が必要です。父母会結成後、県内外の多くの研究者の講演会を開きました。横場園子さん（元中央大学教授）は最初から現在まで十数回おいいただき勇気と励ましをいただきました。高垣忠一郎さん（立命館大学教授）の登校拒否のお話は、親たちを納得させてくれました。登校拒否・不登校問題全国のつどいや社会的ひきこもり支援者全国実践交流会に参加する中で、理論と実践を学ぶと同時に多くの仲間と知り合うことが出来ました。

### 3. 全国ひきこもりKHJ親の会代表、故奥山雅久さんとの出会い

全国ひきこもりKHJ親の会は、長男が長い間ひきこもり状態だった奥山雅久さんが埼玉県岩槻市で始めた親の会が母体で、学習会などを通じて活動開始から一年もたたないうちに会員が一千家族を突破、2000年全国組織に移行しました。

私は奥山雅久さん（2010年死去）とは長い付き合いをさせていただきました。2011年3月に創刊された機関紙『旅立ち』にも、私のことがコラムで紹介されています。

奥山さんは、「ひきこもったわが子が重篤に陥っている状態は、ひとり親子論や親の会では解決できない。国会、厚労省、文科省、各自治体に理解と支援を緊急に働きかけなければならない。」との信念で、埼玉県を動かし、超党派の国会議員に働きかけ、マスコミも社会的問題として取り上げるようになりました。

奥山さんには岩手県にも何回か来ていただきました。専門家や各県の親の会とは内容についていろいろ意見の相違がありましたが、彼の情熱と心意気には私は経緯を払ってきました。

しかし今でも私の中に引っかかっているのは、なぜ奥山さんは「KHJ」にこだわるのかということです。会の設立目的に「引きこもりは、さまざまな心の病理・病気につながり（強迫的神経障害（K）、被害関係念慮（H）、人格障害（J）等）」とあるようにベースに医療モデルがあります。しかし、ポランの広場もそうであるように、困難を抱えた子ども・若者に対する支援は、生活全体を総合的に理解する生活モデルが主流になっており、私がKHJの方針に疑問を持つ理由もその違いにあります。

### 4. 若者の総合的支援をめざして・・・

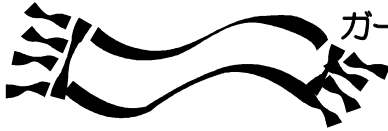
私は、今特定非営利活動法人岩手県青少年自立支援センター「ポランの広場」顧問という立場ですが、まだまだやり残していることがいっぱいあります。若い支援者を育てていくことや、ひきこもる若者の自立支援の場を行政とともに立ち上げていくということです。

東北でも新しい動きが始まっています。秋田県藤里町では、社会福祉協議会や保健関係者などが家族の協力を得て、引きこもりの若者の実態調査を全国に先駆けて行い、長期の不就労状態や50歳を越えても自立できずひきこもっている実態などが明らかになりました。

外の空気に触れさせ人間関係を取りもどす作業、生活体験・経験を積むことで自己肯定感を持つ働きかけ、さらに行政や地域・企業ぐるみで若者の自立に向けて支援を行う取り組み・・・このような取り組みが日本各地で自主的に取り組まれ、国や地方自治体がそれを支えていく仕組みが出来上がれば、日本もまんざら捨てたものではないと思えるようになるのではないのでしょうか。

チャオだより  
子ども&若者の居場所・就労支援・  
学習サポート

よろしかったら、少し  
元気になった子どもさ  
んに紹介してくださ  
い。



ガーゼのふわふわマフラー作り

草木染めをしました

玉ねぎやクリの皮を煮出して、ミョウバン、鉄などと合わせて焙煎液とし、染めていきます。カナリアの黄色や、深いグリーン、グレーにアンティークホワイトなど様々な色に染め上がります。ガーゼの質感と自然が生み出す色に感動してしまいました。この日は若者 3 人の参加。賢の総合政策課の企画担当の方も見えて、見学していかれました。ソーシャルビジネスの委託事業も 2 月までですが、就労支援事業として成り立つ道を今後も模索しながら発展させたいですね。

みんなで力を合わせて



脱穀作業

11月3日(土) 掛け干した稲の脱穀作業が行われました。

掛け干しすると、稲がその間も育つと聞いていましたが、心なしか稲がふっくらしているように感じました。ダッダッダッと脱穀機が動く中、稲を脱穀機に入れる人、稲を担ぐ人、稲わらを裁断する人、その稲わらを肥料として田んぼに撒く人、みんなが一生涯懸命動きます。

説明は最初にいのち塾の北条さんが一通りするだけ。

あとはみんなが自発的に動きます。誰に命令されるのでも、担当が決めるられるのでもなく。

ペースは人それぞれです。ゆっくりおしゃべりしながら働く人。黙々と動く人。コスモス会の収量は30~35キロくらいでした。玄米、白米精米してお届けします。

収穫祭

日時 12月23日(日), 10:00 ~ 15:00

場所 宮崎県東諸県郡綾町北俣 2365-1 いのち塾 北条さん宅

マイ茶碗、マイ箸持参 参加費 1000円

皆で餅つきをしたり、食事をしながら一年間の垢を落としませんか。どなたでも参加できます。連絡下さい。



12月 親の会例会 は家族教室ですが、定員に達し、締切りました。

12月15日(土) 家族教室 13時～15時  
宮崎市民プラザ 4階 中会議室(市役所隣り)  
教室の後、打ち上げ&コスモス会忘年会を行います。

今後の例会等日程	
	実行委員会 市民プラザ中会議室 13時
12/1(土)	実行委員会 13時 市民プラザ中会議室
12/15(土)	12月例会 =家族教室⑦⑧ 市民プラザ中会議室
1/5(土)	実行委員会 13時 市民プラザ中会議室
1/12(土)	1月例会 13時 市民プラザ小会議室 通常の例会です。
2/2(土)	実行委員会 13時 市民プラザ4階学習室
2/9(土)	2月例会 13時 市民プラザ小会議室 通常の例会です。
2/23(土) 24(日)	社会的ひきこもり支援者実践交流会 in みやざき

訪問始めています。まずはご相談を。  
ご希望の方は090-7458-0926(亀田)まで。



### 11月・12月スケジュール

日	月	火	水	木	金	土
25	26	27	28	29	30	12月1日
にじのわバ ザー	発送作業	相談日	チャオ	発送作業 運営委員会	クリスマス パン作り	実行委員会
2	3	4	5	6	7	8
		相談日	チャオ	実行委員会事 務局会議	チャオ	
9	10	11	12	13	14	15
		相談日	チャオ		チャオ	家族教室 家族教室
16	17	18	19	20	21	22
		相談日	チャオ	発送作業 運営委員会	チャオ 大掃除	
23	24	25	26	27	28	29
収穫祭	休み					
30	31	1	2	3	4	5
休み						実行委員会

2012年度の会費納入ありがとうございます  
年会費 2000円 おもに毎月発行のコスモス通信発行費に充てられます。今年の納入はお済みですか。